

がん化学療法指示書

登録番号 214  
作成日 2019/4/10

レジメン名	weekly nab-PTX+RAM
診療科・対象疾患	(外)進行再発胃癌
投与間隔	4週毎
投与サイクル数	PDになるまで

Chemo Navi

薬剤名	成分名	投与量	投与日
アブラキサン	アルブミン懸濁型/パクリタキセル	100mg/m <sup>2</sup>	Day1,8,15
サイラムザ	ラムシルマブ	8mg/kg	Day1,15

治療内容	注射	滴下順	抗癌剤	薬剤(成分名)	投与量	時間	投与方法	投与スケジュール				
								day1	day8	day15	day28	
治療内容	注射	Rp1		生理食塩液	100mL	任意	メインルート確保用 投与開始時にレスタミンコーワ内服	●		●		
		Rp2		生理食塩液 デキサート注(6.6mg)	100mL 1V	30分	点滴静注メイン	●		●		
		Rp3		生理食塩液	50mL	全開	点滴静注メイン(フラッシュ用)					
		Rp4		生理食塩液	250mL	60分※1	点滴静注メイン	●		●		
			癌	サイラムザ(ラムシルマブ) 総量250mLに	8mg/kg							
		Rp5		生理食塩液	50mL	全開	点滴静注メイン(フラッシュ用)	●		●		
		Rp6		生理食塩液	100mL	任意	側管ルート確保・フラッシュ用 ※2フィルターより下側の三方活栓から投与する	●		●		
		Rp7		生理食塩液	100mL	30分	点滴静注側管	●		●		
			癌	アブラキサン(アルブミン懸濁型/パクリタキセル) 生理食塩液は溶解に必要な量のみ使用する	100mg/m <sup>2</sup>							
		その他必要薬剤				インフュージョンリアクション予防:レスタミン10mg 5錠 ルートキープ時に内服(day1、day15)						
総投与時間	day1, 15:3時間 day8:1時間											
血管外漏出リスク	サイラムザ(ラムシルマブ):非壊死性抗がん剤 アブラキサン(アルブミン懸濁型/パクリタキセル):起壊死性抗がん剤											
投与時の注意事項	アブラキサン(アルブミン懸濁型/パクリタキセル)は特定生物由来製剤(人血清アルブミン含有)であり特定生物由来製剤使用同意書が必要 サイラムザ(ラムシルマブ):フィルター付きルートを使用。投与後は使用したラインを生理食塩液でフラッシュする アブラキサン(アルブミン懸濁型/パクリタキセル)はフィルター付きルートが使用不可 ※1:サイラムザ(ラムシルマブ)の投与速度 初回投与の忍容性が良好であれば2回目以降の投与時間は30分まで短縮できる ※2: day1,15はフィルター付きルートを使用してサイラムザ(ラムシルマブ)を投与後、フィルターより下側の三方活栓よりアブラキサン(アルブミン懸濁型/パクリタキセル)を投与する。											
備考欄												